

2019 11/12

No.2102

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —

第68回 神奈川文化賞・スポーツ賞贈呈式



神奈川新聞

神奈川の文化とスポーツの発展に功績のあった個人・団体に贈られる第68回神奈川文化賞・スポーツ賞の贈呈式が文化の日の3日、県民ホール（横浜市中区）で行われ、9人2団体が表彰された。



contents

視点・点描 3

紙メディアの可能性

講演録 4

マスコミデビューしよう!～記者の視点で我が社をPR

神奈川県よろず支援拠点コーディネーター 浦川 拓也

神奈川新聞社統合編集局経済部長 吉田 勝行

五輪 8

東京に瑕疵はないのに

五輪マラソン札幌移転

政治双眼鏡 11

政権の「ゆるみ」と「ゆがみ」

政治 12

形骸化する行政評価とEBPM

“根拠”で政策を改善

くらし2019 14

遺伝子治療薬で脚切断回避へ

企業最前線 16

花盛りのGABA入り食品

機能性表示食品が急増

アジアの風 18

比大統領緊急帰国と娘サラの存在

NNAアジア経済レポート 19

事務局だより

◇2019年11月定例講演会
11月18日(月)午後1時30分～3時

よこすか平安閣6階「セレーネ」
講師は環境大臣兼原子力防災担当大臣の小泉進次郎氏
演題は「『日本らしい日本』～ないものはない～」

◇2019年12月定例講演会
12月12日(木)午後2～4時40分
(▽講演会：午後2時～▽社内見学：3時10分～▽交流会：3時40分～)

京急グループ本社ビル(横浜市西区高島1-2-8)
講演会の講師は京浜急行電鉄取締役社長の原田一之氏
演題は「地域と共に歩んだ120年～京急グループ新本社・横浜移転にあたって～」

【お知らせ】 神奈川政経懇話会ではホームページ(www.kanagawa-seikon.jp)に会員コーナーを設けました。新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな情報を掲載します。問い合わせは事務局 ☎045(226)2121。

視点 点描



紙メディアの可能性

企業や自治体、個人が発行する雑誌やフリーペーパーから、人と地域の新しいつながりを探る企画展「地域の編集」が横浜市中区のニュースパーク（日本新聞博物館）で開催中だ。デジタル時代でありながら、各地で「ローカルメディア」と呼ばれる洗練された紙メディアを作り、新しいコミュニケーションを生み出している人た

ちは増えている。こうした潮流に着目した同館が個性的な130点を全国から集め、地方新聞社の事例と合わせて立体的に紹介した。わが身にも興味深く、示唆に富んだ内容だ。

「流通」サブスクリプション（会員制）「投書・投稿」「まちづくり」「課題解決」「アーカイブ」「デザイン」の7テーマに分けて展示。

企業の広報誌でありながら企業色を感じさせない絵本や、生産者と交流できる食材付きの雑誌、死や老いを明るく考える自治体発行誌などデザイン性も高く地域を超えて愛読者を増やしているものも多い。そこには人と地域がつながり、新しい価値や対話を生み出す仕掛けがある。

志賀直哉ゆかりの兵庫県・城崎温泉で活動するNPO「本と温泉」がつくるご当地限定本は、小説家・万城目学が同地に滞在して書き下ろした新作「城崎裁判」を温泉につかって読むことを前提に装丁した。ぬれても破れない特殊な紙を使い、表紙はタオル地。デザイン性も高く、文学好きでなくとも手元に置きたくなる一冊である。

ネット販売はせず、同地に行かなければ買えない付加価値を打ち出したことで、誘客と「文学のまち」の振興に結び付いた。

地元神奈川で、宿と出版社というユニークな業態を営む真鶴出版の「ひもの本」も出色。真鶴半島の干物店に行く干物と交換できる引き換え券が付いており、観光や移住など地域に人を呼び込むマッチングメディアとなっている。

展示媒体は実際に手に取り、座って読むことができる。スマートフォンやタブレットにはない紙ならではのぬくもりがじかに感じられ、作り手の熱意までも伝わってくるよう。こうしたコミュニケーションが信頼や愛着を育み、人と人、地域と人の絆を深めていくのだろう。さまざまな表情をたたえる紙メディアが、その可能性を投げかけてくれる。同展は12月22日まで、月曜休館。入館料一般400円ほか。

（神奈川新聞社文化部長

高田 久美子）